

今後の児童館のあり方方針（概要案）

基本的方向性

・ 全ての子どもとその家族に寄り添い続け、成長を育む児童館 へ

- ▶ 全ての子どもが自らの意思で来館できる「安全で安心して過ごせる居場所」づくりに努める。
- ▶ 遊びや生活場面でのコミュニケーション等を通じて子どもや保護者が抱える課題に切れ目なく寄り添いながら支援
- ▶ 地域の子どもの居場所を守るため、地域ボランティアなどの健全育成活動を促進

取組方針及び具体化策

・ 子どもの「居たい」「行きたい」「やってみたい」居場所づくり

- ①利用対象子どもの拡大、開館日・開館時間の柔軟化、②（仮称）子供会議の実施、③ICTを活用したコミュニケーション環境の整備、④自主学習、学習支援環境の整備、⑤子どもの多様な思いに応える居場所の提供、⑥相談機能の強化

・ 馴染める環境を生かした子育て家庭へのきめ細やかな支援を展開

- ①子育て・子育て相談の実施、②一時預かりの実施

・ 地域における子ども、子育て家庭の孤立防止

- ①子供食堂、学習支援活動等の実施事業者への支援、②休館日等を含めた地域と連携した交流活動等の実施

上記を実現するための課題解決の糸口

- ①児童館機能・役割の再検討及び現行業務の総点検、②人材育成の推進及び人員体制の再構築、③民間活力の導入検討、④運営に関する指針の作成や評価の検討、⑤各館の実情を踏まえた対応策の検討